



野月 一博 (高志会)

狭隘道路の拡幅整備を

後退用地の取り扱いを

検討中

議員 狭隘道路の拡幅整備について、平成二十四年第二回定例会では、現状は主要幹線道路の整備を優先しているが、地域で用地を確保した場合には優先的に整備するとの答弁だった。その後の対応は、

図るため、建築基準法にのつとった後退用地の取り扱いについて条例化の検討を進めることにしています。現在、庁内検討会及び外部有識者九名で構成する十和田市都市づくり推進委員会を組織し、今年度末をめどに制度づくりを進めています。

の合計で三十七カ所、受け入れ可能人数は六百五十二名です。

建設部長 拡幅整備は用地補償に多額の財源を必要とすることから、後退用地が確保された路線を優先的に実施することにしており、現在一路線の事業を実施しています。また、

議員 災害時に特別な配慮が必要な方が避難する、福祉避難所を設置する考えは。

議員 定住自立圏の新規十二事業の取り組み状況は。

市長 市内の十七法人が運営する福祉施設と協定の締結に向けて準備を進めています。

議員 堅実な取り組み姿勢は評価するが、もう少しスピード感が必要では。

議員 近年、空き家の増加が問題視されている。老朽化した空き家が放置されると、倒壊の危険や犯罪の誘発など周囲に悪影響を及ぼすことが危惧されるが、当市の現状は。



桜田 博幸 (明政一心会)

空き家対策条例の制定を

早期制定を目指し 調査、検討中

議員 安心して暮らすことができる環境整備のために、条例制定などが必要では。

議員 今夏の参議院議員選挙は投票率が低調だった。三沢市の取り組みを参考に考える。

議員 定住自立圏の新規十二事業のうち、図書館相互利用促進事業、防災体制整備・地域防災計画等の情報共有等、簡易水道の共同利用の研究・検討、職員研修交流事業、職員人事交流事業の五事業については、既にワーキンググループを開催し、関係市町村と検討を進めています。

議員 堅実な取り組み姿勢は評価するが、もう少しスピード感が必要では。

議員 近年、空き家の増加が問題視されている。老朽化した空き家が放置されると、倒壊の危険や犯罪の誘発など周囲に悪影響を及ぼすことが危惧されるが、当市の現状は。

民生部長 平成二十五年三月に、倒壊及び建築材

議員 安心して暮らすことができる環境整備のために、条例制定などが必要では。

議員 今夏の参議院議員選挙は投票率が低調だった。三沢市の取り組みを参考に考える。



車のすれ違いが困難な狭さ

議員 堅実な取り組み姿勢は評価するが、もう少しスピード感が必要では。

議員 近年、空き家の増加が問題視されている。老朽化した空き家が放置されると、倒壊の危険や犯罪の誘発など周囲に悪影響を及ぼすことが危惧されるが、当市の現状は。

民生部長 平成二十五年三月に、倒壊及び建築材

議員 安心して暮らすことができる環境整備のために、条例制定などが必要では。

議員 今夏の参議院議員選挙は投票率が低調だった。三沢市の取り組みを参考に考える。



参議院選挙の投票風景より

第3回定例会は、12人の議員から一般質問がありました。紙面の都合上、各議員が指定した質問事項とその答弁を要約して掲載しています。詳細については、十和田市ホームページ（12月掲載予定）をご覧ください。